

秋田県鹿角市 ぎかいだより

令和7年11月1日発行

9月定例会

No.

126



大雨被害復旧事業費含む補正予算を可決・・・P2

一般質問には8名が登壇・・・・・・・・・・・・・・・・P4

各常任委員会の審査状況・・・・・・・・・・・・・・・・P8

各常任委員会派遣調査報告・・・・・・・・・・・・P9

鹿角市議会議員政治倫理審査会について・・・・P11

常任委員会合同派遣調査報告・全員協議会・・・P12

10月15日には、毛馬内保育園の皆さんが議場に訪れ、見学を行いました。

9月定例会

大雨被害復旧のための事業費を含む補正予算案を可決

9月定例会

主な議案の審議内容

令和7年第6回定例会を8月29日から9月19日までの22日間の日程で行い、市長より報告3件、諮問1件、議案8件、認定6件が上程され、決算特別委員会で審査する認定4件以外を原案のとおり適任・可決し、継続審査としていた陳情1件については不採択としました。

鹿角市児童クラブ条例の一部改正について

質問

十和田小学校の出入口は国道に面し非常に混雑し、進入路の幅が狭く、すれ違うのも困難である。十和田わくわく児童クラブの廃止により、十和田児童クラブへの送迎車両が増加し、交通事故の発生が危惧されるが、道路の拡幅工事などの措置を講ずる考えはあるか。

答弁

拡幅工事の予定はないが、安全確保について学校側と協議を進めたい。

人事案件

○人権擁護委員

菅原芳徳氏（新任）

令和7年度鹿角市一般会計補正予算（第4号）

○総務管理費

質問

公用車18台のカーナビについて、テ

レビ受信料未払いの期間は。また、今後の方針は。

答弁

期間はそれぞれ異なるが、最長で17年ほどであった。今後は市長車、議長車、大型バスを除き、公用車のカーナビは全て撤去する。

○有害鳥獣被害防止対策事業

質問

箱わなについて、現在の稼働状況は。また、熊の出没情報すべてに対応して設置できているか。

答弁

箱わなは現在38基あり、その稼働実績は、昨年度は1年間で83件、今年度は8月26日現在で既に80件に達している。秋の出没に備え、新たに箱わな5基と、GPS付きトレイルカメラ10台を追加導入することとした。

おり、捕獲圧を強めながら対策を充実している。

○地場産業原料米価格高騰対策支援事業

質問

支援対象者を酒造業や味噌・麴等製造業に限定しているが、米を扱う飲食店や菓子製造業などを含まないこととした基準などはあるか。

答弁

酒造用米及び加工用米の価格について調査したところ、2倍以上の価格上昇が見込まれる品種もあった。酒造及び味噌・醤油等の製造業は、本市の地場産業として今後も生産を継続していただくために支援を決定した。他の事業者については販売価格の変動により対応していることから、今回は対象外とした。

決算特別委員会を設置し決算を審査

令和6年度一般会計歳入歳出決算等の認定案件4件について、定例会最終日に決算特別委員会を設置し、議会閉会中の10月6日及び7日の2日間にわたり、審査を行いました。

委員からの質疑・意見等の詳細な審査内容については次号（2月1日発行）でお知らせします。

◆決算特別委員（9名）

委員長 佐藤 大介
副委員長 綱木 裕一
委員 浅石 昌敏
荒澤 祐一
館花 一仁
丸岡 孝文
赤坂 勲
松村 託磨
奈良明日香

令和7年第6回定例会において審議した議案等の審議結果

定例会の審議結果

◇市長提出議案	審査結果
継続費精算報告書について(十和田図書館整備事業)	報告
令和6年度鹿角市健全化判断比率について	報告
令和6年度鹿角市資金不足比率について	報告
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
職員の育児休業等に関する条例及び鹿角市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	原案可決
鹿角市児童クラブ条例の一部改正について	原案可決
令和6年度鹿角市上水道事業剰余金の処分について	原案可決
令和7年度鹿角市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
令和7年度鹿角市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
令和7年度鹿角市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
令和7年度鹿角市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
令和6年度鹿角市上水道事業会計決算認定について	認定
令和6年度鹿角市下水道事業会計決算認定について	認定
令和6年度鹿角市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
令和6年度鹿角市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
令和6年度鹿角市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
令和6年度鹿角市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇陳情	審査結果
再審法改正(刑事訴訟法の一部改正)の意見書の採択を求める陳情	不採択

会議録公開中!!

市議会の本会議で話し合われた内容を、市ホームページからご覧いただけます。

会議録はこちらから

- ✓ 市ホームページ
- ↓
- ✓ 市政
- ↓
- ✓ 市議会
- ↓
- ✓ 会議録検索



市ホームページから会議録検索へ

傍聴のご案内

議場での傍聴は、市議会の活動内容を知るための最も身近な方法です。

市議会の本会議は一般の方に公開されており、本会議当日に市役所3階で受付をしていただければ、どなたでも傍聴することができます。

議場内での携帯電話・スマートフォンの使用は禁止しております。傍聴の際にはご協力をお願いいたします。

問 緊急銃猟制度の本市の現状、課題及び運用方針の状況は。

答 令和3年度から市街地出射対応訓練等を実施しており、緊急銃猟についても、安全に十分配慮しながら適切に対応していく。



問 廃棄物の資源化・リサイクルの推進について

答 本市のこれまでの廃食油リサイクルの現状と課題、今後の方針は。

問 廃食油は資源ごみとして定期収集を行い、再生処理後に農業用ハウスの暖房用燃料として活用している。

答 昨年度の回収実績は913リットルで人口減とともに年々減少傾向にある。廃油については収集体制や再資源化後の用途も確立していることから、今後もしリサイクルの周知を図

っていく。
墓に関する市の対応について

問 自然葬や改葬許可管理者不在の墓について、市が把握している現状は。

答 昨年度の改葬許可申請は38件で墓じまいが大半である。

また、自然葬については本市において散骨を規制する条例がなく、火葬のように許可制でもないため把握していない。管理者不明と判断される墓地については、131件を把握しており、昨年度は墓石の現地確認を行っている。今後も自治会長や近隣住民などからの情報収集を通じて、管理者把握に努めていく。

質問した項目

- 熊による人身被害防止対策について
- 廃棄物の資源化・リサイクルの推進について
- 墓に関する市行政の対応について



録画配信はこちらから

問

災害によるJR花輪線の運休に備え、迅速な代行輸送体制を事前に整備できないか伺う。災害対応はJRが主体であり、市は迅速な情報収集と市民への周知に全力で努める。

答



問 観光資源と地域資源の再生について

質問した項目

- 災害時の対応について
- 利用の少ない施設の利活用について
- 観光資源と地域資源の再生について
- 建設業の持続可能性について

問 松江市の導入例を踏まえ、鹿角市でも宿泊税を導入すれば単純計算で約4000万円の財源確保が見込まれ、観光振興の持続可能性を高めると考える。市として新たな観光財源の確保をどう検討しているか伺う。

答 宿泊税は観光振興の貴重な財源となり得るが、料金上昇による観光客減少や宿泊施設の事務負担、徴収管理コストなど課題も多い。現在は調査研究

段階であり、関係者の意見を伺いながら慎重に検討していく。

問 大湯地区の共同浴場は老朽化による休業が目立ち、建物や設備の修繕が必要とな

っている。共同浴場は住民の「日常生活のインフラ」であると同時に観光資源でもある。市として老朽化にどう向き合い、維持・再生の方針をどう考えるか伺う。

答 共同浴場は市が所営しているが、大規模改修には課題が多い。また、利用は地域住民の生活用途中心で観光資源化は難しい。共同浴場のあり方も含め、慎重に検討していく。



録画配信はこちらから

問 風力発電設備設置に伴う森林伐採工事による生態系への影響について、市の考えを伺う。

答 環境影響評価方法書への意見の中で、適切に調査・予測及び評価を行うことや、影響を回避・低減するように回答している。



鹿角市における風力発電設備設置について

問 風力塔設置のための地盤整備は、土砂流出防備及び水源かん養の点から、地滑りや土砂崩れなどの自然災害が心配されるが、市の見解を伺う。

答 予定区域には土砂流出防備保安林のエリアが含まれており、土砂災害を懸念する意見があることに対し、両事業者から、適切に対応する方針が示されている。

市としては、事業者が行う環境影響評価の

結果を注視しながら、自然災害のリスクに対して適切な評価が行われ、十分な対応策が講じられているか確認していく。

飼い主のいない猫について

問 飼い主のいない猫の苦情・相談とその対応について伺う。

答 今年4月1日から大館保健所内に新設された「動物愛護センター県北支所」が相談窓口となっている。

市では、市民からの問い合わせを動物愛護センターに取り次ぐとともに、動物愛護センターが飼い主に対する猫の飼い方指導などを行う際に同行するなど、連携した対応を行っている。

保田 直美 議員 (無会派)

質問時間 30分

質問した項目

- 鹿角市における風力発電設備設置について
- 飼い主のいない猫について



録画配信はこちらから

館花 一仁 議員 (鹿真会・公明)

質問時間 60分

問 市街地での発砲対応マニュアルについて、市長不在時の判断などは明確化されているか。

答 市マニユアルを国の緊急銃猟ガイドラインに則って改正した。現場では農地林務課代表者が指揮・発砲判断を行い、市長へ報告する。



熊・有害鳥獣対策について

問 ブナの実の凶作による市街地への出没増加を見据え、特別警戒体制を敷く考えはあるか。

答 箱わなを5基増設、トレイルカメラを10基導入するなど捕獲体制を強化している。また、誘引物の除去、電気柵の適切使用、やぶの刈払いなどの周知・注意喚起に努めていく。

風力発電事業について

問 財政効果や撤去保証、また文化財・景観保全との両立について伺う。

答 経済効果については、事業者が決定した段階で具体策の提示を求めている。

撤去については、国有林の貸付終了後に原状回復等が求められることに加え、契約手続き時に廃棄等費用の内容を確認することとされている。市では、事業終了後の設備撤去・処分及び原状回復が確実に実施されるよう、認定の有無にかかわらず、事業者に対し、廃棄等費用を確保するよう求めている。

また、文化財・景観保全との両立については、情緒的側面と経済的側面との調和をいかに図っていくかという観点から評価する必要があると考える。



録画配信はこちらから

問

答

夏の深刻な気温上昇に対し、公立学校施設の体育館へ冷房設備は導入できないか。
大規模改修とは別の方法による効果的な暑さ対策について情報収集をしており、適宜必要な対策を検討していく。



鹿角市人口ビジョンに

して

問

人口減少対策として子育て世帯が安心して暮らせるまちづくりが重要であるが、こども家庭庁が推進する「こどもまんなか応援サポート宣言」を鹿角市も行い、官民一体で子育て支援を進める考えはあるか。

答

市民や企業、団体と一緒に子育てを地域全体で支えていくといった機運を高めていくことは大変有意義であると考えるところから、こどもま

医療体制に関して

問

小児科医療の縮小に伴い、入院や緊急時の対応が大館市立総合病院となっている。市として、通院や入院を余儀なくされる市民に対する支援や補助はあるか。

答

これまで直接的な要望等は届いていないが、ニーズの把握が必要と考えている。地域の医療体制が縮小されることが予想されていく中で、集約化される医療への交通アクセスに対する施策について、今後予定している医療ビジョン策定の中で整理・検討していく。



録画配信はこちらから

奈良 明日香 議員(新時代かづの)

質問時間 30分

質問した項目

- 医療体制に関して
- 産婦人科問題に関して
- 鹿角市人口ビジョンに関して
- 教育現場に関して

問

答

上沼地区における風力発電計画について、住民への説明会開催状況は。
これまで周辺地域への説明会は2事業者で計21回開催したほか、市議会や要請のあった団体へ計3回開催している。



米代川の鮎資源を活用した地域経済の振興について

問

今年大豊漁であった「米代川の鮎」を資源とした地域経済の振興、将来的なPR構想について伺う。

答

米代川の鮎の遡上数が今年は平年の5倍以上、釣り人も1日平均90人以上と報告されている。全国から人が訪れ一定の経済効果が生まれているが、天然鮎は流通が安定せず、市民が食べる機会が少ない。今後は漁協等と連携し、観光や地

鹿角市内の朝市(市日)の賑わい創出について

問

飲食ブース設置により観光客や若年層を呼び込む可能性について、市の見解は。また、県条例の運用について柔軟な対応や見直しを要望できないか。

答

市の定期市場条例では、飲食店の出店を禁止する規定は設けておらず、保健所で食品衛生法に基づく営業許可を取得するなど、必要な手続きを経れば出店は可能。関係事業者や出店者の声を踏まえ、地域振興の視点に立ち、必要に応じて県に意見や要望を伝えていく。



録画配信はこちらから

安保 真希 議員(無会派)

質問時間 30分

質問した項目

- 上沼地区における風力発電建設計画について
- 米代川の鮎資源を活用した地域経済の振興について
- 鹿角市内の朝市(市日)の賑わい創出について

問 ジビエ振興を図るため、法基準を満たす施設整備や、民間への補助創設の考えは。

答 捕獲数が一定せず採算が不透明であり、市が施設整備する考えはない。民間事業者には既存補助制度を紹介しながら対応する。



産業振興施策について

問 各種大会や駅伝などのスポーツ大会開催で相当な人出があるものの、経済効果を取りこぼしている。飲食店等の出店により経済効果を波及させるため、市内事業者等がキッチンカーを導入するための補助金など支援が必要ではないか。

答 キッチンカー購入に利用可能な起業・創業支援事業補助金は調理設備は対象だが、車体は対象外。融資など別制度を案内しながら、商工会等と連携を検討していく。

携した出店支援をしていく。

農業経営の安定化対策について

問 米価の急騰により主食用米の作付けが増加する中で、作付け転換による加工用・飼料用不足の懸念があり、実需者には死活問題である。来年度の交付金について、国への増額要望や産地交付金上乘せの考えを問う。

答 今年度の作付けは前年比で主食用米が約1割増の2281ヘクタール、新規需要米は半減の198ヘクタール。今年度は飼料用米に産地交付金を上乗せしたが、来年度も国・県の動向を把握しながら必要な要望や支援を検討していく。

赤坂 勲 議員 (新時代かづの) 質問時間 30分

質問した項目

- 産業振興施策について
- 都市農村交流事業について
- 鹿角市ホームページ・SNSの運用について
- 農業経営の安定化対策について



録画配信はこちらから

問 移住・関係人口施策を「還流」と「持続」の視点で整理し直せないか。

答 本市では還流は「移住」、持続は「関係人口」と整理しており、移住者数などの成果指標を設けて取り組んでいる。



移住・関係人口施策の現状と次の展開について

問 自主財源で運営している仕事体験プログラムを、地域おこし協力隊制度と組み合わせ、発展させることはできないか伺う。

答 本事業は移住希望者が仕事や生活を体験する取り組みで、委託先が継続的な支援をしている。協力隊は公益性のある事業所に限られ、組み合わせることは難しい。

問 第2世代交付金を短期的には事業改善に、長期的には総合

計画や定住促進戦略へ反映できないか。

答 交付金は「鹿角家」、「鹿角家U25」等に活用しており、後期計画にも移住・定住事業を明確に位置づけ、財源として活用する方針である。

問 人材不足や若年女性の流出について、市としてどう対応するのか伺う。

答 社会減が主要因であり、Uターンや関係人口を増やすことは有効である。若者が魅力を感じる企業誘致や、女性が活躍できる職場づくりを進める。また仕事体験や二地域居住を推進し、出会いの場や子育て環境の充実にも取り組み、定住促進につなげていく。



録画配信はこちらから

[議案第50号] 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

問 本条例の一部改正が職員の働き方や、今後の人材確保に与える影響は。

答 職員に対する情報の周知等に努め、仕事と育児・介護の両立支援体制のさらなる整備を図っていく。この環境整備が今後の人材確保にも少なからずつながっていくものと考えている。

[議案第54号] 令和7年度鹿角市一般会計補正予算(第4号)

問 (消防施設整備事業)「消火栓工事負担金」の内容は。

答 経年劣化で破損した、花輪西町地区と十和田大湯川原ノ湯地区の2カ所の消火栓修繕に係る費用である。

[7請願第9号] 再審法改正(刑事訴訟法の一部改正)の意見書の採択を求める陳情

「昨今の情勢などを考えたときに趣旨は理解できることから、趣旨採択すべき」との意見や「国の法改正に係るものであり、一市議会が審査するのはふさわしくないと考えることから不採択とすべき」、また「運用ルール面や制度悪用のリスクについて言及されていないことから不採択とすべき」との意見が出され、採決の結果、「不採択」とすべきものと決定した

[議案第52号] 鹿角市児童クラブ条例の一部改正について

問 十和田わくわく児童クラブの利用児童数は。また、十和田児童クラブへの移行で児童への支障はないか。

答 現在の登録者数は46名で、そのうち利用者は6割程度である。現在利用している児童については来年3月に施設の引き渡し準備を予定していることから、頃合いを見ながら移行を案内していく。

[議案第54号] 令和7年度鹿角市一般会計補正予算(第4号)

問 (児童生徒学力向上対策事業)教科別学力検査委託料について、県が行っていた標準学力テストにあたるものと認識しているが、全国平均と比較した結果の出る内容か。

答 全国平均と比較した結果が出る調査である。県内全ての市町村が実施している調査ではないため、県全体との比較はできないが、全国平均との比較で教職員も授業の改善に活用しているほか、デジタル教材とリンクして一人一人の課題が分かる点も生かすことができている。

[議案第54号] 令和7年度鹿角市一般会計補正予算(第4号)

問 (地理的表示登録産品PR強化事業)「かづの牛地理的表示登録PR強化事業費補助金」の内容は。

答 かづの牛が「地理的表示(GI)」に登録されたことを受け、生産・販売を担う秋田畜産農業協同組合が行う宣伝用の素材作成や首都圏での販路開拓に向けたPR活動経費に対し、市が支援する内容である。

問 (インバウンド対策強化事業) トップセールスで訪問先をタイにした理由は。

答 県が11月実施するトップセールスへ県内市町村にも同行の呼びかけがあったことから参加を決定したものであるが、本市には東南アジアからの旅行客が年間約1万7,000人訪れており、その中でも経済発展が著しいタイからのインバウンドを促進し、本市の観光振興を図る目的で訪問するものである。

[認定第1号] 令和6年度鹿角市上水道事業会計決算認定について

問 令和6年度決算における流動比率が178.3%に低下したことに対する市の認識と、今後の上水道事業の見通し及び経営コストの縮減方法は。

答 令和6年度決算の流動比率は22ポイント余り低下しているが、現段階では健全性は保たれていると捉えている。

一方で、今後も建設改良積立金や減債積立金を充当していく予算編成となるため、今後も「流動資産」が減り「流動比率」の低下が見込まれている。経営改善に向け、収入面では今年9月使用・10月請求分から上水道料金の値上げを行うが、来年度からの給水収益が年間8,000万円から1億円程度の増収を見込んでおり、料金回収率は向上する。また、支出面でのコスト削減対策としては、施設の老朽化や動力費の高騰により経営経費の増加が見込まれることから、安価な新電力の電気料金への契約切替え、各種委託料の委託形態の見直し、施設設備の早期点検による修繕料の抑制に取り組んでいる。

○総務財政常任委員会
(島根県海士町、松江市)

海士町では急速な人口減少と財政難に直面する中「自立促進プラン」に基づき、地域資源と人材を活用した持続可能なまちづくりを進めている。

中でも「大人の島留学」

や「親子島留学」は、都市部からの若者や親子を受け入れ、地域課題に向き合いながら、学びと働きの場を提供する制度であり、地域や学校との連携や移住促進、教育機会の格差是正にも寄与している。また「高校魅力化プロジェクト」では、地域と連携した探究学習を通じて、地域に誇りと関わりを持つ人材育成を図っている。さらに、公務員の副業を容認する「半官半X制度」や「副業協同組合」など、地域人材の多様な働き方を支援する制度も導入されており、自治体と民間が連携した先進的な取り組みとして高く評価できる。今後参考としながら政策提言などをしていきたい。

常任委員会派遣調査報告



海士町役場にて

松江市では、観光政策の財源多様化を目的に宿泊税条例を制定し、令和7年12月から施行予定としている。課税対象は1泊5000円以上の宿泊者で、一律200円を課税する。税収は観光資源の磨き上げや人材育成、公共交通整備などに活用される。制度設計では、事業者や市民との意見交換を重ね、パブリックコメントや説明会を実施しており、無許可施設への対応や税収の透明性なども議論され、鹿角市における観光振興や自主財源拡充の参考となる事例であった。

(湯瀬弘充)



松江市役所にて

(派遣委員)
湯瀬弘充 館花一仁
中山一男 丸岡孝文
松村託磨

○教育民生常任委員会
(岡山県奈義町、兵庫県加東市)

奈義町では、「子育て応援宣言のまち」として少子化対策を子育て世代の問題ではなく地域全体の課題と捉え、住民と共に支える体制を構築している。出産祝い金10万円や給食費・教材費の無償化、在宅育児支援金(月1万5000円)など、手厚い支援が特徴であり、町の一般会計予算規模約50億円のうち子育て・教育支援へ単独事業費約3



なぎチャイルドホームにて

億円を確保している。保健師や地域の愛育委員による新生児訪問を行っていきながら、保育施設「なぎチャイルドホーム」や一時保育「すまいる」、自主保育「たけの子」など多様な保育形態も整備されている。さらに「子ども議会」の復活で子供の意見を聞く、小中学校の各学級へのALT配置による英語教育の充実など魅力ある教育が推進されていた。



加東市役所にて

に統合し、児童生徒の成長を一貫して見守る体制を整備を行っていた。当初は住民から大きな反発もあったが、小中一貫校へ整備後、不登校の児童数が整備前より減少するなど、成果も見られている。市教育委員会は3つの中学校区ごとに小中一貫校の設置を計画し、関係者との協議を重ねながら、時代に即した新たな教育の創造を目指している。

(浅石昌敏)

(派遣委員)
浅石昌敏 兎澤祐一
児玉悦朗 保田直美
赤坂 勲 奈良明日香

○産業建設常任委員会

(長野県長野市、新潟県新潟市)

長野市では、ジビエ加工センターを視察した。施設は短期間で整備され衛生管理の徹底された解体・熟成・処理・冷凍室に加え、商品管理や放射能測定などの機器も完備されている。捕獲後2時間以内の搬入を実現するため、市内に保冷車両を配備するなど、商品レベルアップへのこだわりを読み取ることができた。令和6年度に市内で捕獲された1809頭のシカのうち、930頭が同施設へ搬入・加工され、商品化されている。

以前は埋設処理されていたシカが有効活用され、農業被害や捕獲者の負担軽減に貢献している。

ただし、施設は赤字経営で税金による補填が必要であり、鹿角市のクマ捕獲への応用には課題も多い。道の駅での販売や市外への取引拡大、シカ角の高需要など、今後の展開に向けたヒントも得られた。



長野市ジビエ加工センターにて（ジビエカー）

新潟市では、新潟浄化センターを視察した。下水処理過程で発生する汚泥を活用し、新たな肥料「越肥（えこ）の輪にいがた」を開発している。乾燥汚泥は「菌体リン酸肥料」として登録され、混合肥料の原料として利用可能となっていた。設備はコンパクトで省エネ設計、1日25トンの処理能力を持つ。生成された脱水汚泥はセメント会社で代替燃料や原料としても活用されていた。ただし、有害粉塵の発生が課題であり、改修が必要という面がある。

肥料は県立施設やイベントで配布され、収益目



新潟浄化センターにて

的ではなく、輸入依存の国内肥料事情の改善にも寄与している。

鹿角地域の広域汚泥処理計画に向け、多くの示唆を得る視察となった。

(栗山尚記)

(派遣委員)

栗山尚記 綱木裕一
田村富男 成田哲男
安保真希 佐藤大介

※議員個人の報告については、市ホームページに掲載しております。

また、左記2次元コードからも、アクセスすることが出来ます。



〈用語解説〉

◆緊急銃猟制度

☞P4、P5

↓人の日常生活圏にクマやイノシシが出没した場合、一定の条件を満たしたとき、市町村長の判断により銃器を使用した捕獲等ができる制度。

◆宿泊税

☞P4

↓ホテルや旅館等の宿泊施設に宿泊した際に宿泊者が支払う地方税のひとつ。主に道府県や市区町村が独自に条例を定め導入しており、宿泊料金に応じて一定額が課税される。

◆こどもまんなか応援サポーター

☞P6

↓こども家庭庁が推進する子供たちのために何が最もよいことかを常に考え、子供たちが健やかで幸せに成長できる社会を実現する「こどもまんなか宣言」の主旨に賛同し、取り組みを行う個人、団体、企業、自治体等を指す。

◆第2世代交付金

☞P4

↓新しい地方経済・生活環境創生交付金の別

名。地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることでできるような、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講じるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づいた地域の独自の取り組みを国が支援するもの。

◆地理的表示保護制度

☞P8

↓農林水産省が認定するその地域ならではの自然的・人文的・社会的な要因の中で育まれた品質や社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度。

◆政治倫理審査会

☞P11

↓議員の行為が条例で定められる政治倫理基準や制度規定に反する疑いがある場合、設置される審査会を指す。

◇鹿角市議会議員政治倫理審査会について

議員による市職員へのパワーハラスメント事案について、本市議会では4月15日から8月22日まで鹿角市議会議員政治倫理審査会（以下「審査会」）を設置し、事実確認等の審査をし、ハラスメントとして事案1件を認定し、議長へ審査結果報告書を提出されました。委員の構成は次のとおりです。

◎会長 佐藤 大介
◎副会長 奈良明日香
委員 保田 直美
赤坂 真希
綱木 裕一
松村 託磨

ハラスメントとして認定した事案は、次の1件です。

対象事案 館花一仁議員が職員に対し市道除雪の確認及び実施を迫った行為

審査にあたっては、鹿角市ハラスメント防止に関する条例及び厚生労働省の定めるハラスメント

各種指針を判断基準の参考としました。審査の内容については市ホームページに掲載しております。左記2次元コードからアクセスすることが出来ます。



議長に対し、審査結果報告書を提出した後、市議会では鹿角市議会議員政治倫理条例第16条に基づき「議会の措置」を協議した結果、議員に対する「本会議での陳謝の勧告」を決定し、議長は9月19日の本会議冒頭において、これを報告しました。同日の本会議において館花議員からは陳謝がありました。



審査結果報告書が議長に手渡された

月 日	審 議 内 容
4月15日	市議会全員協議会において、鹿角市議会議員政治倫理条例（以下「条例」とする。）に基づく「鹿角市議会議員政治倫理審査会」（以下「審査会」とする）で議員のパワハラ事案を審査をする方針を決定。審査対象者は前任期議員であった者18人全員、審査にあたる委員は新たに当選した新議員7人とする案を示した。 各会派会長から議長へ条例に基づく審査請求書を提出。 議長が審査会を設置するとともに、新議員7人を委員に指名。
4月18日	（第1回審査会）会長及び副会長互選、違非の存否確認、議員からのパワハラ等に関する実態調査案の決定。
4月21日～5月7日	職員に対する「議員からのパワハラ等に関する実態調査」の実施
5月14日	（第2回審査会）実態調査の結果確認、調査協力職員からの聞き取り調査の可否検討
5月21日	（第3回審査会）調査協力職員からの聞き取り調査の実施
6月10日	（第4回審査会）疑義のある審査対象議員からの聞き取り調査の可否検討
6月24日・6月25日	（第5回審査会）疑義のある審査対象議員からの聞き取り調査の実施
7月2日	（第6回審査会）聞き取り調査内容の取りまとめ、事案審査
8月18日	（第7回審査会）報告書（案）の修正
8月22日	（第8回審査会）報告書の決定。 審査会より、議長へ報告書を提出。
9月1日	館花一仁議員より条例に基づく意見書が提出される。
9月2日	審査結果報告書及び意見書を公表（市ホームページへ掲載）
9月11日	市議会全員協議会において、議会の講ずるべき措置を協議・決定。
9月19日	本会議において、議会の講ずるべき措置として、本会議での陳謝の勧告を決定し、館花議員へ通知したことを報告。 本会議において館花議員が陳謝。



図書館ロビーで説明を受ける議員

8月29日、移転新築した十和田図書館について全議員で調査を行いました。

新たな十和田図書館は、隣接する十和田市民センターと渡り廊下で接続されており、2つの施設を一体として利用することができま

す。図書館内にはバリアフリートイレのほか、幼児サイズのトイレを設置し、市民センターを利用される方も含めて、皆さんに安心して利用いただけるトイレ環境が整備されています。

児童図書コーナーの「ほんのうち」は、一般閲覧室から離れた場

所にあり、隠れ家のようなか「えほんのへや」の中で読み聞かせを楽しむことができます。2階の立山文庫、諏訪文庫、みどりの文庫には旧十和田図書館に保管されていた郷土の文化人が遺した貴重な資料が多数展示されており、資料は実際に手に取って閲覧することができます。



2階には立山文庫、諏訪文庫、みどりの文庫があり、郷土資料が展示されている。

今回のリニューアルオープンにより、単に図書館の利便性が向上されただけではなく、これまで公開していなかった貴重な資料が公開されることで、十和田地域が輩出した文化人を通して、市民が地域に愛着を持ち、学問に関心を持つきっかけとなることが期待されます。



1階児童図書コーナー「ほんのうち」では隠れ家のようなスペースで子供たちが本に触れることができる。

秋田県北部市議会連絡協議会

去る10月14日、鹿角市、大館市、能代市、北秋田市の県北4市議会で構成する秋田県北部市議会連絡協議会が鹿角市において開催されました。

本協議会は、県北4市の共通課題を協議し一体となった発展を目指すそうと、平成8年に発足したものです。

当日は、総会が開かれ、能代市提出「洋上風力発電拠点化促進等のための能代港の機能強化について」、大館市・能代市・北秋田市提出「日本海沿岸東北自動車道の早期完成について」、大館市・北秋田市・能代市・鹿角市提出「八戸・能代間

・北東北横断道路の整備促進について」、北秋田市・鹿角市提出「医師確保と地域への均衡ある医師配置について」、大館市・北秋田市・能代市・鹿角市提出「道路整備予算の確保について」、北秋田市提出「国道105号「大曲・鷹巣道路」の整備促進について」の全6案件の協議が行われ、いずれも原案のとおり承認し、今後関係機関等に要望活動を行うことを決定しました。



ツキノワグマについての対策について取り組み、生態について講演を受けた。

その後、秋田県自然保護課の近藤麻実氏を講師として、「ツキノワグマの生態と対策」と題しての講演を行い、近年全県的にも相次ぐクマの生態への理解を

深めるとともに、住民が人身被害に遭わないようにするためにはどうすればいいかなどの対策について、理解を深めました。

編集後記

議会では、市民の暮らしに関わるさまざまな課題について、活発な議論が続いています。本誌では、その様子をできるだけ分かりやすくお伝えすることを心がけました。限られた紙面のため十分に伝えられない部分もありますが、少しでも議会を身近に感じていただければと思います。皆さまから寄せられる声は、議会活動を進めるうえで大切な力となります。

今後とも率直なご意見をお聞かせいただくと幸いです。（宮野）

議会広報委員会

委員長 赤坂 勲
副委員長 松村 託磨
委員 宮野 和秀
佐藤 祐一
大介